

あいち農産物生産流通レポート

平成25年7月号

情報サロン		
・『あいち食育いきいき検定2013』が始まりました！	(食育推進課)	1
地域トピックス		
・横山農園がイタリアンレストランをオープン	(尾張農林水産事務所)	3
東日本情報		
・日本橋で愛知の魅力を紹介するイベントが開催されました	「徳川家康公も登場！」 (東京事務所)	4
西日本情報		
・「平成25年度 愛知のふるさと食品コンテスト」の出品を募集します	(食育推進課)	6
フラワーページ		
・今後のフラワーウォークについて	(園芸農産課)	7
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		9
・名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し		10
花 き		
・切花・鉢花の7月の見通し(県内市場)		22
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2013年4月)		26
関連指数		27

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

『あいち食育いきいき検定2013』が始まりました！

食育推進課では、県民に食に関する知識や関心を深めてもらうため、インターネットを利用した『あいち食育いきいき検定2013』を実施します。今年度で5回目となります。昨年度からは若者の参加を促すために、スマートフォンでの受検が可能となっています。

1 実施内容

(1) 検定の概要

インターネットにより受検し、食育に関する設問に、3つの選択肢から解答をします。

全問解答後に自動で採点され、8割以上正解すると「合格」の判定が出ます。詳しい解説や得点分析も表示されます。

(2) 実施形態と出題分野

「サマーチャレンジ」、「オータムチャレンジ」、「ウインターチャレンジ」の3期に分けて実施します。

「あいち食育いきいきプラン2015」における3つの柱「体」「心」「環境」をそれぞれ、問題を入れ替えて実施します。

(3) 受検コース及び出題数

○子どもコース：20問

(概ね小学5年生から中学生を対象)

○一般コース：20問

※いずれも100問中から項目ごとに無作為に選別された問題が出題されます。制限時間は20分間です。

2 実施期間

サマーチャレンジ 平成25年6月27日(木)から9月9日(月)まで

オータムチャレンジ 平成25年9月19日(木)から12月9日(月)まで

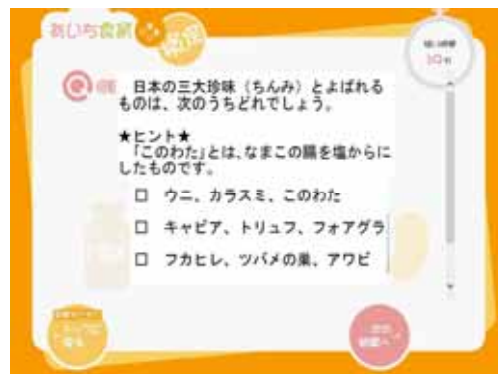
ウインターチャレンジ 平成25年12月19日(木)から平成26年3月9日(日)まで

(いずれも初日は午前9時から、最終日は午後5時まで)

スマートフォン画面



問題例



3 受検方法

愛知県の食育 Web サイト「食育ネットあいち」にアクセスし、「あいち食育いきいき検定」のボタンより、受検案内のページに進みます。

(「食育ネットあいち」URL <http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>)

4 受検資格

どなたでも、また期間中に何度でも受検することができます。

5 受検料

無料

6 合格者に対して

(1) 合格証の発行

合格者のうち希望者には、合格証を発行します(送料をご負担いただきます)。

(2) 満点(100点)合格者の「食育ネットあいち」掲載

合格者のうち、得点が満点(100点)の方で、希望される方は「食育ネットあいち」で氏名(またはハンドルネーム)、市区町村名を発表します。

7 学校教育機関での受検

学校教育機関のうち、希望する学校教育機関は「食育ネットあいち」上で、参加校名(団体名)、参加人数を掲載するほか、感謝状をお送りします。

8 その他

この食育検定は、愛知県が県民の健全な食生活を推進することを目的として独自に実施するものであり、食に関する公的な資格を与えるものではありません。

横山農園がイタリアンレストランをオープン

ファーストトマトとアールスメロンの経営で第29回日本農業賞大賞及び第39回農林水産大臣賞を受賞した、豊明市の横山農園（経営主：横山賢一氏、以下「農園」という）が、平成25年3月に長久手市内にイタリアンレストラン「Osteria Camparo（オステリア カンパロ、Camparo は農場管理人の意）をオープンしました。

< 農園の野菜を使った料理 >

レストランでは、イタリアで9年間の料理修業を積んだ横山氏の次男の智之さんがシェフを務めます。オープンから3か月経った現在でも、1週間前から予約が必要なほどの人気ぶりです。取材の日は、ランチコース（¥1,800）を注文しました。前菜には農園のミニトマトとメロン、自家製生パスタにもミニトマト、デザートジェラートにもメロンが使用されていました。



建物外観：左がレストラン、右は直売



ランチコースの前菜

< 直売所も盛況 >

また、併設の直売所には農園のミニトマトとメロンを始め、メロンジェラートやトマトジュースなどの加工品や、契約農家からの無農薬野菜などが並んでおり、紫色のジャガイモやニンジン、UFO型のズッキーニなど珍しい野菜もありました。なかでも、ミニトマトやメロンは試食することができ、安心して買うことができます。

< ブログも充実 >

農園は、情報の発信にも力を入れており、特にブログでは農園の作業や作物の様子とともに、レストランの新メニューや直売所に新しく並んだ野菜などを紹介しています。

< 六次産業化事業認定 >

農園の「トマトとメロンを使用したレストラン事業、洋菓子製造事業」は、平成24年度に六次産業化・地産地消法に基づく事業計画として認定されました。また、農業主導型六次産業化整備事業（国の直接採択事業）を活用した、新メニュー開発費の補助を受けることを検討しているそうです。



直売所には新鮮でお値打ちな野菜が並ぶ

日本橋で愛知の魅力を紹介するイベントが 開催されました「徳川家康公も登場！」

最近、各地で仕事以外での出会いや自己研鑽のために仕事が始まる朝の時間を活用して行う、「朝活」イベント「明のニホンバシ46ドウフケン #01アイチケン」が東京日本橋で開催されたので紹介します。



イベントの全体概要

このイベントはNPO法人日本橋フレンドが主催するもので「江戸時代には五街道の基点」、「現代では、主要7国道の始点」であり日本の中心地とも言える日本橋から情報を発信していこうという企画で、日本橋界隈に勤務するビジネスパーソンを対象に①各道府県の食材を使った朝餉（あさげ）を通じて各地域の「食」特徴を実際に味わいながら、その魅力を紹介する。②その地域の産業、観光、ビジネスについてのプレゼンテーションを行う。③2つの講演に対して、参加者からや自由な意見をもらう。と

いう内容で構成された朝活イベントで、東京を除いた全国の46道府県を順にクローズアップして紹介される予定です。おおよそ月に1回のペースで行われ全道府県が終了するのは4年後になるそうです。

今回は、その「46ドウフケン」のトップを切って、愛知県の紹介が行われ

れました。なぜ、愛知県が1番目になったかというと、愛知県は古くから産業が栄え全国

「明のニホンバシ46ドウフケン #01アイチケン」

開催日時	2013年6月7日 午前7時30分～9時
開催場所	日本橋室町「豊年萬福」
運営（主催）	特定非営利活動法人日本橋フレンド ASOBOTO inc
後援協賛	愛知県、名古屋市 七福醸造（株）、（株）角谷文治郎商店 （株）まるや八丁味噌
内容	食（農産物）についての講演 渡邊貴夫氏（イタリア料理シェフ、いいとも愛知会員、愛知県出身） 「愛知の食材と発酵調味料の魅力」 業（産業、観光）についての講演 徳川家康公（名古屋おもてなし武将隊） 「武将を活かし観光PR」

愛知県東京事務所は、プレゼンターの紹介、情報提供等、運営を後方から支援しました

<当日のタイムテーブル>

7:45	開会、趣旨説明、朝餉の紹介
7:50	「食」に関する講演（渡邊シェフ）
8:05	産業・観光に関する講演 （徳川家康公）
8:20	参加者による質問等
8:45	終了

参加者は、それぞれのオフィスへご出勤

的にみても活力ある地域と言うことで熱烈なオファーがあったこと、それから主催者で事務局の担当者が名古屋出身なので取っかかりは、愛知県からやろうということになったそうです。

「朝餉のメニュー」

①みりん粕の玉子豆腐、さばへしこのみりん粕漬けを添えて

(角屋文治郎商店の有機みりん粕を使用)

②愛知県産しらすと根菜の炊き込みご飯白だし風味
(七福醸造の有機白だしを使用)

③八丁味噌の赤だし

(まるや八丁味噌の有機八丁味噌)

上記の3種類が朝餉としてでてきました。これらは、渡邊シェフの監修で会場の「豊年萬福」の料理長によって作られたもので、どれもおいしくいただくことができました。参加者の評判も良く、特に有機みりん粕を使った玉子豆腐は「初めて食べる味で大変おいしい」との意見もありました。



愛知の食材、調味料を使った朝餉

渡邊シェフによる「愛知の食材と発酵調味料の魅力」と題しての講演

イタリア料理シェフであり、東京での「いいともあいち」会員第1号でもある渡邊貴夫シェフ(自称いいともあいち推進員)によるあさり、トラフグなどの水産物や、キャベツ、トマトなどの農産物を中心とした「愛知の食材」の話題と、愛知のみりん、八丁味噌などの発酵調味料についての講演が行われ、ユーモアを交えたお話しで終始和やかなムードで進んでいきました。



講演する渡邊シェフ



自ら愛知の魅力をPRする徳川家康公

徳川家康公による講演

鎧、甲冑姿で颯爽と登場すると会場の雰囲気は最高潮となりました。家康公自ら愛知の観光、産業の魅力について話されました。特に三の丸御殿について熱く語っていました。参加者に愛知の魅力を最大限に伝えることが出来たんじゃないかと感じました。

東京事務所では、今回のイベントを少しでも良いものにし、愛知県をPRすることができるよう講演者の紹介や参考資料、情報の提供等、お手伝いできたと思っております。

「平成25年度 愛知のふるさと食品コンテスト」 の出品を募集します

～ コンテストの最優秀食品は県から全国コンクールに推薦されます～

愛知県では、県内で生産された農林水産物を主な原材料とする加工食品（＝ふるさと食品）を公募し、技術や味、包装デザインなどを競う「平成25年度愛知のふるさと食品コンテスト」を下記により開催します。

これは、農林水産物の生産振興等を目的として開催するもので、3年以内に製品化された加工食品が対象です。

コンテストで最優秀に選出された食品は、一般財団法人食品産業センターが主催する全国規模のコンテスト「優良ふるさと食品中央コンクール」に、愛知県代表として推薦されます。

また、出品いただいた加工食品は、出品者の希望により県のホームページに掲載し、広く一般に紹介します。

主食、惣菜、菓子、飲料など、食品の種類は問いません。多くの企業・団体からの出品をお待ちしています。

記

1 応募要件、審査基準及び応募様式等

食育推進課にお問合せいただくか、ホームページを参照してください。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000061836.html>)

2 応募方法

応募様式等に必要事項を記載の上、平成25年7月26日（金）までに食育推進課宛てに提出してください。

3 審査会

(1) 日時：平成25年8月9日（金）午後2時から

(2) 場所：あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センター（名古屋市西区）

4 審査結果の通知等

(1) 応募者には、審査結果を審査会終了後に通知します。

(2) 最優秀食品に選出されたふるさと食品については、一般財団法人食品産業センターが主催する「平成25年度優良ふるさと食品中央コンクール」に県から推薦されます。

5 出品に対するPR機会の提供

出品者の希望により県のホームページ「いいともあいち情報広場」(<http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/iitomo/>)に掲載し、広く一般に紹介します。

6 申込み・問合せ先

愛知県農林水産部食育推進課 消費・食品表示グループ

電話 052-954-6434

メールアドレス shokuiku@pref.aichi.lg.jp



昨年度の最優秀食品
「愛知丸が釣ったかつおと
しょうがのごはんじゅれ」

今後のフラワーウォークについて

愛知県は、昭和37年から連続して全国一の花き産出額を誇っており、花きは本県農業の柱の一つとなっています。

花は、見たり、飾ったり、贈り合ったりすることで人々の心に潤いと安らぎを与えてくれる癒しの効果があります。

1 「フラワーウォーク」とは

県内の花の生産者組織である愛知県花き温室園芸組合連合会（以下「県花き連」）が、平成20年5月に、花のある暮らしの推進と消費拡大を図る一環として、生産者自らが街へ出る機会に花を持って出掛け、県民が花に親しめる機会を作り、花を買ってもらおうと提唱したもので、県庁を挙げて応援・参加しています。

2 県庁における「フラワーウォーク」の取組

これまでは、毎月1回実施していましたが、今年度からは、2ヶ月に1回（隔月偶数月）、「今月のあいちの花」（※1）をワンコイン（500円）で購入してもらいます。

<平成24年度のフラワーウォークの実績（本庁）>

本庁では、生産者や市場・小売、JAから季節の花を提供していただいています。

また、生産者が消費者の声を生に聞く場として、新品種を試験的に販売したり、新しい規格を販売するなど、活動の幅を広げています。

月	品名	提供先	数量 (束・鉢)
4月	カーネーション【切花】	県花き連カーネーション部会	456
5月	ガーベラ【鉢】	県花き連鉢花部会	361
6月	バラ【切花】	県花き連ばら部会	562
7月	アフェランドラ・ダニア【鉢】	JAあいち知多花き協議会	403
8月	ペンタス【鉢】	愛知名港花き卸売事業協同組合	412
9月	ケイトウ【切花】	JAあいち知多農業協同組合	300
10月	アロママム【鉢】	海部苗木花卉生産組合連合会	428
11月	花屋さんの花束【切花】	愛知名港花き卸売事業協同組合	603
12月	カーネーション【切花】	県花き連カーネーション部会	586
1月	デンドロビウム【鉢】	JAあいち知多花き協議会	763
2月	フラワーバレンタイン企画“男性から女性にプレゼントしたい花束”【切花】	愛知名港花き卸売事業協同組合	558
3月	カラー【切花】	海部苗木花卉生産組合連合会	557
合計			5,989

3 県庁以外におけるフラワーウォークの取組

(1) 農林水産事務所

地元で生産された季節の花を生産者に提供していただいております、地域の特色を生かして、産地の紹介を実施しています。

(2) 市町村・他県

愛知県から始まったフラワーウォークを、西尾市や田原市でも独自に実施しており、さらに、岐阜県や北海道、秋田県、鹿児島県、長野県などにも広がっ

ています。

4 今後のフラワーウォーク

愛知県は、生産額が日本一であると同時に、他県よりも多くの品種が生産されていることも特徴の一つであるので、今までに、取り扱ったことのない花を取り入れるとともに、市町村や他県でもフラワーウォークが実施され、一般の消費者の方が、品質の高い地元の花を、身近に購入できる機会が増えることを願っています。

<平成25年度のフラワーウォーク計画>

平成25年度 今月のあいちの花（※1）	
4月*	カーネーション【切花】
5月	フォーミディブル（洋らん）【鉢】
6月*	ハイビスカス【鉢】
7月	アンスリウム【鉢】
8月*	スプレーギク【切花】
9月	グロリオサ【切花】
10月*	花壇苗（パンジー）【鉢】
11月	白輪ギク【切花】
12月*	シクラメン【鉢】
1月	和物類【鉢】
2月*	ベゴニア【鉢】
3月	ガーベラ【切花】

FLOWER WALK は、2ヶ月に1回(偶数月*)実施予定です。



カーネーション(4月)



フォーミディブル(5月)



ハイビスカス(6月)



アンスリウム(7月)



スプレーギク(8月)



グロリオサ(9月)



花壇苗(パンジー)(10月)



シクラメン(12月)



ベゴニア(2月)

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：アールスメロン）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
24年実績	1843	313 (17%)	738	466	静岡 (38%) 熊本 (19%) 愛知 (17%)
25年見通し	1700	—	700	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>県内の主な産地は豊川、豊橋、渥美など東三河地方。生育は今のところ順調であり、例年と比較して、今年は大玉傾向にある。入荷量は年々減少傾向にあり、昨年をかなり下回る見込みで、価格は昨年をやや下回る見込み。</p>			<p>全国的に作付面積は減少傾向にある。品種は産地ごとに様々であり、大きな変化は見られない。嗜好の変化はなく、また消費者の低価格志向により、販売環境は厳しいままである。 試食宣伝などを通して、贈答用以外での消費にも期待したい。</p>		

東京都中央卸売市場（とうがん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
24年実績	644	190 (29%)	110	140	神奈川 (26%) 静岡 (17%) 茨城 (15%)
25年見通し	660	—	110	—	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>昨年は、茨城産の増量、沖縄産の残量などにより市場での飽和感が広がり、7月は安値での展開となった。今年についても同様の傾向で、愛知をはじめ、神奈川、静岡、茨城など各産地からの出荷となる。沖縄の残量も多い。 本県産の出荷開始は6月上旬で、本格的な出荷は6月中旬から、現況、露地もの出荷も始まっている。生育は順調で、潤沢な出荷が期待できる。 全体の入荷量は前年をわずかに上回り、価格は安値であった前年並の見込み。</p>			<p>ここ数年いつも言っていることだが、需要増加のためには、料理方法の提案などを量販店等で積極的に行う必要がある。一般家庭での認知度も向上しているように思えるがさらに、サラダ等での消費提案が必要である。 愛知県産については品質に問題なく、これまで通り、形や色を揃えるなど高品質の保持に努めて欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し

名古屋市中央卸売市場

6月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	20年	34,757	184	203	193	159	長野 28%
	21年	30,896	201	194	211	199	北海道 11%
	22年	30,577	229	221	236	232	愛知 10%
	23年	29,793	219	230	222	210	兵庫 8%
	24年	30,327	204	208	213	198	
	5ヵ年平均	31,270	207	—	—	—	
	25年見通し	29,900	202	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主な産地は長野、北海道、愛知。品目によっては、雨不足の影響を受けることも予想されるが、いずれにしても今後の天候次第である。 入荷量・価格とも前年並みの見込み。</p>							
だいこん	20年	2,139	64	70	62	59	青森 43%
	21年	1,982	83	86	83	81	北海道 41%
	22年	1,664	90	80	105	90	岐阜 15%
	23年	1,688	95	94	98	99	長野 1%
	24年	1,820	76	81	80	75	
	5ヵ年平均	1,858	81	82	84	80	
	25年見通し	1,800	80	80	80	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主要産地は青森、北海道。青森は、作付面積が1割強少なくなっている上に、雨不足が、今後の露地もの出荷量に影響を与えらると思われる。北海道は生育状況も順調で、7月から入荷が本格化する。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
にんじん	20年	2,025	113	164	107	74	青森 58%
	21年	1,721	148	135	149	159	北海道 35%
	22年	1,526	203	199	201	208	中国 3%
	23年	1,785	117	141	110	107	千葉 2%
	24年	1,603	163	241	166	120	
	5ヵ年平均	1,732	146	174	143	130	
	25年見通し	1,700	150	180	160	120	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は北に移行し、7月は青森が主体となる。北海道の産地は一部地域に限られており、8月に入ると出荷が本格化する。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

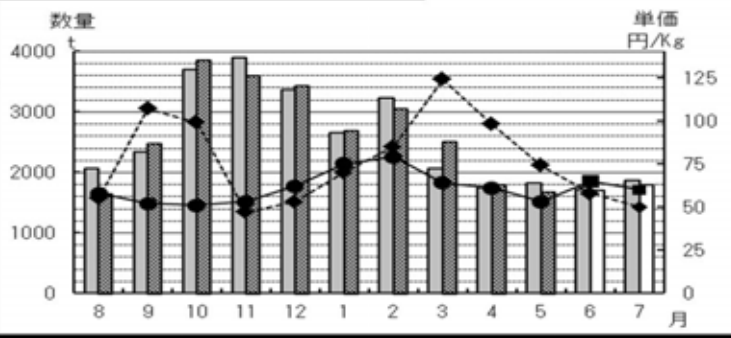
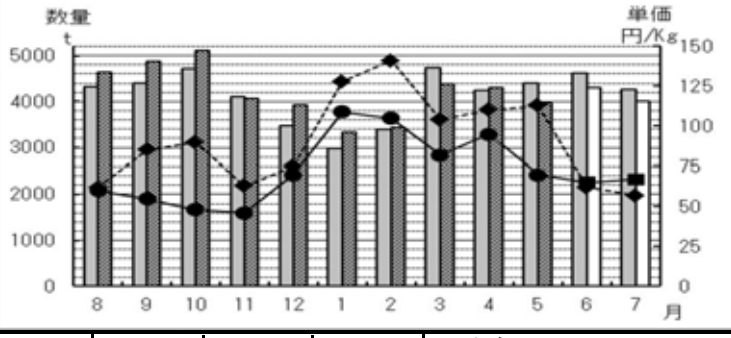
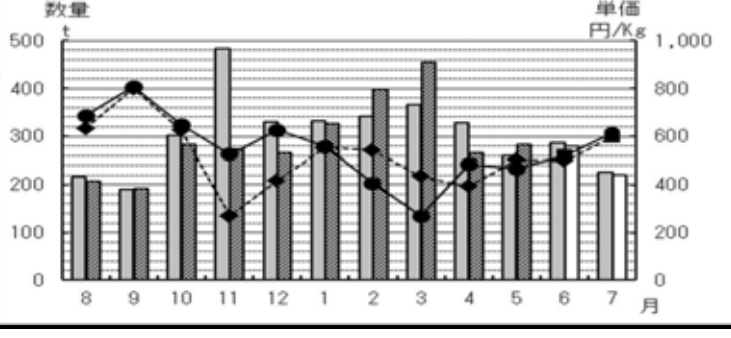
6月25日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	20年	132,422	202	229	199	180	群馬 14%
	21年	126,213	219	216	222	220	長野 14%
	22年	122,704	237	226	245	242	茨城 12%
	23年	118,688	238	250	237	228	千葉 8%
	24年	123,363	217	224	215	212	(愛知産比率 1%)
	計	5ヵ年平均	124,678	224	—	—	—
25年見通し	123,000	220	—	—	—		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
群馬、長野の高冷地と東北産地からの入荷が本格化する時期となる。各品目とも春先からの低温の影響を受け遅れ気味だったが、ここにきて回復してきている。入荷量は品目によって多い少ないはあるものの総体では前年並が見込まれる。価格も前年並の見込み。							
だいこん	20年	9,774	65	72	58	65	北海道 52%
	21年	9,226	78	87	74	74	青森 39%
	22年	8,799	90	81	103	86	岩手 4%
	23年	8,212	93	95	89	95	群馬 1%
	24年	8,703	70	76	68	68	(愛知産比率 -%)
	計	5ヵ年平均	8,943	79	82	78	78
25年見通し	8,300	90	95	90	85		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
青森に加えて、北海道が本格出荷する。北海道は播種期の天候不順の影響等から遅れの傾向があり回復程度も産地間でまちまち、青森は春先の低温の影響で少なめの出荷が予想される。総体のは前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							
にんじん	20年	7,212	115	149	104	87	青森 41%
	21年	5,909	137	118	140	152	千葉 30%
	22年	5,514	181	170	184	189	北海道 21%
	23年	6,145	111	118	104	112	中国 5%
	24年	6,291	149	185	152	115	(愛知産比率 -%)
	計	5ヵ年平均	6,214	137	148	137	131
25年見通し	5,500	135	135	135	135		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉に加えて、青森、北海道からの入荷が増える。青森は寒さの影響から遅れ傾向であったが回復。北海道も同様の傾向であるが作付増で順調な出荷が期待できる。千葉は生育順調で品質も良好。入荷量は前年をかなり下回り、価格は不足感のあった前年をかなり下回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	20年	2,234	78	97	69	68	長野 97% 群馬 2%
	21年	1,810	68	59	72	74	
	22年	1,956	63	51	72	70	
	23年	1,919	58	67	57	60	
	24年	1,865	50	64	51	51	
さい	5ヵ年平均	1,957	64	69	64	65	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,800	60	60	60	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		産地の中心は長野。長野は若干作付面積が減少している。夏物の需要が減っており、また加工需要も年々減少していることから、単価が取りにくい。 入荷量は前年をやや下回り、価格は低かった前年を大幅に上回る見込み。					 <p>ほうきの数量と単価の推移。数量は8月～7月まで、単価は8月～7月まで。数量は概ね2000～4000トン、単価は50～125円/kg。</p>
キャベツ	20年	3,978	71	79	68	68	群馬 40% 長野 38% 茨城 12% 愛知 4%
	21年	3,853	69	71	68	67	
	22年	3,792	89	77	100	91	
	23年	4,096	95	117	101	75	
	24年	4,259	57	61	57	59	
べっ	5ヵ年平均	3,996	76	81	78	72	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,000	67	70	70	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		主要産地は群馬、長野。両産地とも干ばつのため、生育は遅れている。まとまった雨がなければ、量的には減る傾向にある。ただ、今後の天候次第では、回復すると思われる。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。					 <p>キャベツの数量と単価の推移。数量は8月～7月まで、単価は8月～7月まで。数量は概ね2000～5000トン、単価は50～150円/kg。</p>
ほうれんそう	20年	248	583	627	584	533	岐阜 86% 長野 6% 茨城 3% 愛知 2%
	21年	274	571	520	572	622	
	22年	202	719	636	771	777	
	23年	193	687	684	695	689	
	24年	226	600	622	576	598	
れん	5ヵ年平均	229	625	612	631	637	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	220	615	650	620	580	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		産地の中心は岐阜（飛騨地方）。作況は安定している。ほうれんそうは、水をまけば出るので、現状では特に入荷量等に問題はない。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。					 <p>ほうれんそうの数量と単価の推移。数量は8月～7月まで、単価は8月～7月まで。数量は概ね100～500トン、単価は200～1000円/kg。</p>

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	20年	6,322	60	85	49	49	長野 85%
	21年	5,759	53	47	53	59	群馬 11%
	22年	6,024	59	49	64	65	茨城 3%
	23年	6,005	58	64	56	56	山梨 1%
	24年	5,669	50	55	45	51	(愛知産比率 -%)
さい	5ヵ年平均	5,956	56	50	53	56	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
い	25年見通し	6,000	50	50	50		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は8月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～2月にピークを記録した後、3月以降は減少傾向にある。単価は8月～10月に上昇し、11月以降は比較的安定している。</p>				
<p>長野からの入荷が中心に群馬も入荷する。両産地とも春先等の寒さの影響で遅れも心配されたが、解消し生育状態は順調、品質も良好、潤沢な出荷が見込まれる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。</p>							
キャベツ	20年	15,159	62	65	60	60	群馬 64%
	21年	16,628	62	66	61	61	岩手 14%
	22年	17,760	84	69	91	91	茨城 7%
	23年	14,130	92	106	98	76	長野 6%
	24年	15,032	51	57	48	49	(愛知産比率 0%)
べ	5ヵ年平均	15,742	77	73	72	67	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
っ	25年見通し	15,000	60	60	60		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量は8月～10月に増加し、11月以降は減少傾向にある。単価は8月～10月に上昇し、11月以降は減少傾向にある。</p>				
<p>群馬、岩手からの入荷が中心となる。主力の群馬は早植えものに初期段階でやや不揃いが見られたが全体的には順調。岩手も出だしは少ないが中旬以降潤沢な出荷が見込まれる。入荷量は前年並を見込み、価格は全国的に豊作型であった前年を大幅に上回る見込み。</p>							
ほうれんそう	20年	1,189	482	463	474	513	群馬 26%
	21年	1,246	498	488	514	497	栃木 23%
	22年	946	651	547	725	728	茨城 16%
	23年	910	587	548	565	667	岩手 14%
	24年	1,074	513	492	447	618	(愛知産比率 0%)
れ	5ヵ年平均	1,073	540	508	545	605	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ん	25年見通し	980	500	500	500		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量は8月～10月に増加し、11月以降は減少傾向にある。単価は8月～10月に上昇し、11月以降は減少傾向にある。</p>				
<p>岩手と関東高冷地からの入荷が中心となる。各産地とも、群馬は急な高温により露地から雨よけへの切り換え早まる。各産地とも総じて生育は順調であるが若干の作付減がある。入荷量は、前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							

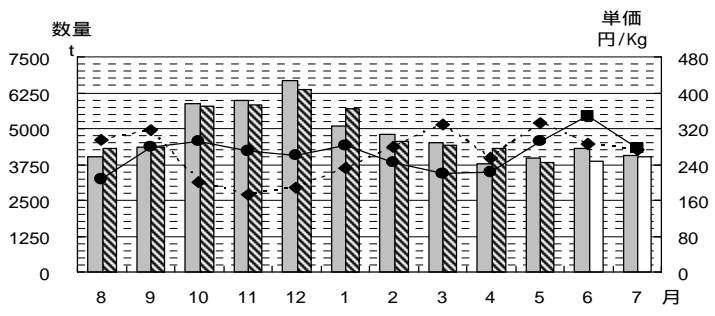
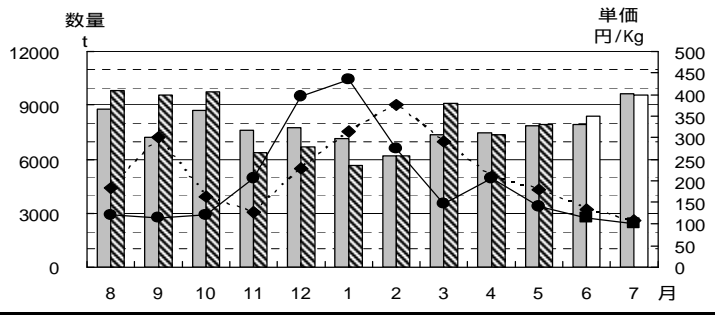
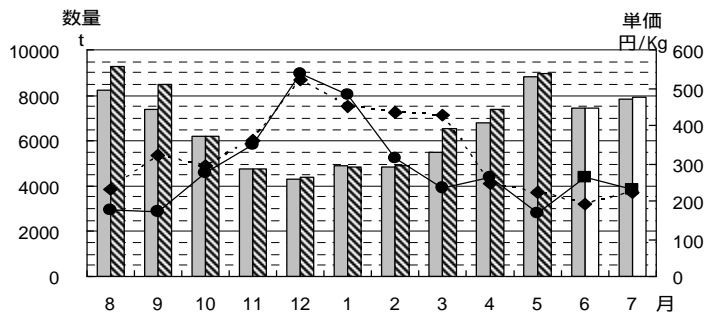
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	20年	865	375	359	391	376	愛知 27%
	21年	897	384	390	385	379	大分 14%
	22年	843	433	392	486	434	茨城 9%
	23年	746	382	374	415	389	静岡 9%
	24年	740	384	384	576	598	
ぎ	5ヵ年平均	818	392	380	447	431	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	720	380	350	400	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知からは長ねぎ、大分、茨城は白ねぎ、北海道は青ねぎとなる。九州は干ばつの影響でやや遅れが生じており、細ものが多い。8月になれば、高台ものも出てきて、量的には出揃う。 入荷量は、前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。</p>							
し タ	20年	2,255	106	118	115	90	長野 100%
	21年	2,111	108	86	117	118	愛知 0%
	22年	2,108	144	118	123	186	和歌山 0%
	23年	2,275	106	121	113	109	
	24年	2,488	110	113	115	126	
ス	5ヵ年平均	2,247	114	111	116	125	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	2,300	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は、ほぼ100%長野。産地は準高冷地が終了し、高冷地へ移る。7月上旬から中旬が入荷のピークとなる。玉の大きさは2L、Lが中心。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年並みの見込み。</p>							
き ゆ	20年	1,614	195	236	200	153	長野 52%
	21年	1,287	235	207	245	255	北海道 16%
	22年	1,540	236	266	263	191	埼玉 11%
	23年	1,359	296	318	291	283	愛知 6%
	24年	1,404	257	275	255	249	
う り	5ヵ年平均	1,441	242	260	249	223	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,400	260	250	270	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地の中心は長野。次いで北海道。北海道、東北は雨不足や寒さのため、生育が遅れていることもあり、7月上旬の入荷量は少ない見込み。 入荷量・価格とも前年並みの見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	20年	4,348	253	292	250	219	茨城 66%
	21年	4,132	338	360	356	306	千葉 13%
	22年	3,902	337	312	403	307	埼玉 5%
	23年	3,993	260	259	272	251	中国 5%
	24年	4,045	274	285	314	228	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	4,084	292	302	295	262	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,000	275	290	275	260	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城からの入荷が中心となる。茨城を中心とした関東産は、5月より乾燥状態が続いていたが、6月中旬の降雨もあり生育は概ね順調、病害の発生も少なく順調な出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年並が込まれ、価格も前年並の見込み。</p>							
しそ	20年	8,982	100	106	104	92	長野 85%
	21年	9,016	104	89	110	111	群馬 11%
	22年	8,495	145	110	128	189	岩手 2%
	23年	9,501	103	110	102	96	北海道 1%
	24年	9,610	107	100	104	107	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	9,121	111	103	110	119	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	9,600	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>長野からの入荷が中心となる。長野の生育は概ね順調。乾燥気味で推移していたところに6月中旬の降雨があり、玉伸びも良好。群馬も一部で少雨の影響があるものの概ね順調。</p> <p>入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
きゅうり	20年	8,468	168	227	162	126	福島 36%
	21年	7,805	214	193	221	226	岩手 12%
	22年	8,135	204	240	216	171	秋田 10%
	23年	7,832	266	321	233	257	埼玉 7%
	24年	7,868	224	230	212	230	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	8,022	214	242	209	222	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	7,900	230	240	220	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>福島を始め、岩手、秋田、宮城等、東北産地からの入荷が中心になる。</p> <p>各産地とも干ばつによる遅れがあったが回復傾向。露地ものが出揃い月後半にかけて潤沢な出荷となる。総入荷量は前年並が見込まれ、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

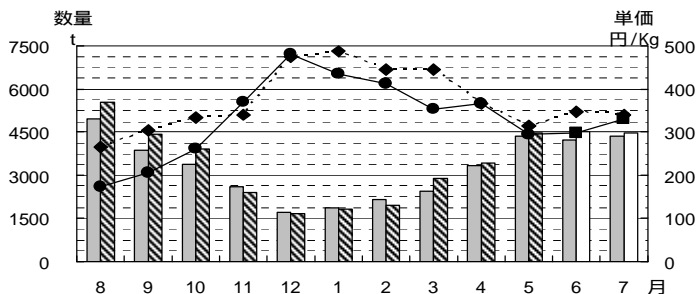
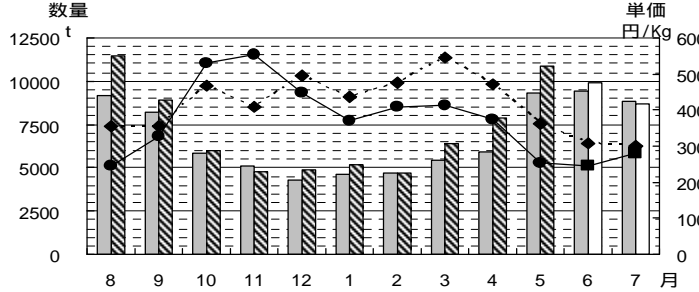
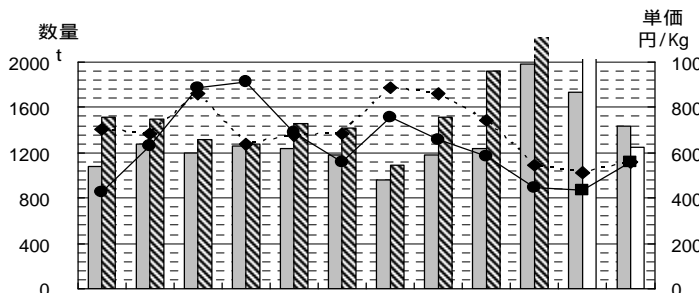
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	20年	1,119	233	305	228	183	愛知 33%
	21年	1,035	230	197	249	252	山梨 16%
	22年	1,025	306	305	336	289	徳島 12%
	23年	1,081	315	327	309	319	群馬 9%
	24年	1,004	300	294	316	300	
す	5ヵ年平均	1,053	276	286	286	267	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,000	300	330	300	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、山梨、徳島の千両なす、群馬の長なすが入荷する。天候的には、雨が少ないのが、なすには反っていいのではないか。7月中下旬が入荷のピークとなる見込み。入荷量・価格とも前年並みの見込み。</p>							
マ	20年	1,540	232	238	263	204	岐阜 31%
	21年	1,486	276	245	283	296	愛知 24%
	22年	1,518	285	248	265	335	北海道 19%
	23年	1,342	348	327	359	360	三重 7%
	24年	1,402	318	325	320	317	
ト	5ヵ年平均	1,458	290	275	296	301	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,400	320	350	300	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主力産地は岐阜、愛知、北海道。夏の暑さで遅れていた定植時期も、ここに来て落ち着いてきた。入荷量・価格とも前年並みの見込み。</p>							
ミ	20年	285	471	495	502	427	北海道 52%
	21年	300	520	484	503	567	愛知 27%
	22年	334	544	495	553	581	茨城 6%
	23年	292	715	78	756	745	熊本 4%
	24年	349	622	618	614	635	
ト	5ヵ年平均	312	575	442	586	593	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	300	550	600	550	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主力産地は北海道。次いで愛知。7月上中旬は平年より少ない出荷となるが、下旬には回復して順調な出荷に向うと思われる。入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	20年	5,596	239	351	227	163	群馬 28%
	21年	4,958	266	288	283	240	栃木 24%
	22年	4,866	297	335	325	250	茨城 22%
	23年	4,716	312	362	282	299	埼玉 7%
	24年	4,346	339	351	353	317	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,896	288	337	294	254	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,550	330	360	330	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地が切り上がり、関東産地が入荷の中心となる。関東各産地の生育は順調で樹の状態も良く、10日頃には出揃う見込み。入荷量は前年をやや上回る見込みで、価格は前半切り替わりで、強めの展開になるものの後半関東産増量で下げに転じ、前年をやや下回る見込み。</p>					
							
ト マ ト	20年	9,424	228	257	240	197	青森 14%
	21年	8,234	285	254	289	307	栃木 14%
	22年	8,292	282	245	268	328	茨城 11%
	23年	8,002	340	331	320	371	福島 9%
	24年	8,874	301	307	295	301	(愛知産比率 6%)
	5ヵ年平均	8,565	280	279	282	301	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	8,700	280	290	280	270	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北産地の入荷が本格化してくる。東北各産地は春先の生育遅れが回復傾向にあり平年作。関東産も生育は概ね順調にきている。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
							
ミ ニ ト マ ト	20年	1,200	454	501	492	395	茨城 25%
	21年	1,166	492	462	473	536	福島 14%
	22年	1,176	511	461	483	582	青森 10%
	23年	1,040	695	720	689	674	愛知 10%
	24年	1,434	561	566	591	533	(愛知産比率 10%)
	5ヵ年平均	1,203	540	542	546	544	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,250	560	580	560	540	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>福島、岩手の東北産地からの入荷が増えてくる。東北産地の生育は遅れ気味での推移であったがここに来て回復傾向。本県産は平年並の出荷となるが減少しながら展開となる。入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年並の見込み。</p>					
							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	20年	603	290	362	302	213	茨城 46% 岩手 21% 北海道 18% 宮崎 7%
	21年	507	299	301	286	310	
	22年	504	341	263	414	371	
	23年	426	450	466	442	483	
	24年	480	303	282	355	324	
マン	5ヵ年平均	504	332	332	355	331	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	500	310	350	300	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主要産地は茨城。次いで東北、北海道からの入荷となるが、やや遅れている。7月前半は入荷量が少ないが、後半は天候次第ではあるが、増える見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>							
ばれいしょ	20年	1,904	130	147	141	106	静岡 33% 北海道 24% 長崎 17% 愛知 15%
	21年	1,439	191	170	204	199	
	22年	1,556	185	201	204	154	
	23年	1,662	101	118	90	97	
	24年	1,566	89	86	103	86	
いしょ	5ヵ年平均	1,625	138	144	146	126	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,500	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主要産地は静岡、北海道、長崎。静岡ものはすでに入荷されており、愛知、青森が次いで出てくる。長崎は7月中旬で終了し、北海道は7月下旬からの入荷となる。愛知は雨が少なかった影響で、出方が遅い。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							
たまねぎ	20年	5,384	59	62	64	52	兵庫 70% 愛知 19% 中国 6% 佐賀 2%
	21年	4,193	97	98	110	90	
	22年	4,004	92	96	86	94	
	23年	3,412	64	63	64	67	
	24年	3,245	129	131	127	130	
ねぎ	5ヵ年平均	4,047	85	87	88	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	3,500	95	100	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主要産地は兵庫。次いで愛知。愛知は、7月上旬には終了し、兵庫は7月5日、10日頃から増えてくる。後半にはほぼ100%兵庫ものとなる見込みで、単価も上がってくる見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	20年	2,468	227	239	200	154	茨城 67%
	21年	2,104	266	278	236	281	岩手 20%
	22年	2,056	320	233	398	349	福島 4%
	23年	1,781	409	441	362	422	青森 3%
	24年	2,018	248	220	273	254	(愛知産比率 -%)
マン	5ヵ年平均	2,085	288	282	294	292	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	2,100	280	270	380	290	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城、岩手からの入荷が中心となる。茨城は生育順調、終盤をむかえるも夜温低く病害の発生少ない。岩手については干ばつ、低温の影響も少なく多かった前年並の出荷が期待できる。入荷量は前年をやや上回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>							
ばれいしょ	20年	5,254	132	146	133	112	茨城 26%
	21年	4,976	184	167	189	197	長崎 19%
	22年	5,858	174	183	185	156	千葉 18%
	23年	5,741	102	119	97	90	静岡 17%
	24年	5,473	88	92	90	81	(愛知産比率 0%)
いしょ	5ヵ年平均	5,460	136	141	139	127	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	5,200	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心に、静岡、長崎からの入荷となる。各産地とも生育は問題はなく、潤沢な出荷が見込まれる。現況の基調安の傾向を7月も引きずる見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は安値であった前年をかなり上回るものの平年比安となる見込み。</p>							
たまねぎ	20年	10,122	77	81	78	71	兵庫 35%
	21年	8,903	113	104	114	121	佐賀 33%
	22年	9,253	108	104	103	114	中国 8%
	23年	8,728	68	71	66	68	群馬 6%
	24年	8,312	142	145	139	143	(愛知産比率 3%)
ねぎ	5ヵ年平均	9,064	101	101	87	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	7,900	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>佐賀、兵庫、香川の入荷が中心となる。各産地とも中盤を迎え、ほとんどが貯蔵となるが、不作だった前年とは、うって変わって順調な出荷が期待できる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

「その他メロン」は「アールスメロン」以外のメロンをいう。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	20年	12,035	347	350	360	334	フィリピン 20%
	21年	11,675	326	331	328	321	愛知 17%
	22年	11,793	336	349	335	328	山梨 7%
	23年	10,410	364	380	371	348	石川 7%
	24年	11,166	319	342	318	306	
	5ヵ年平均	11,416	338	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	10,500	330	—	—	—	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	産地は愛知、山梨、石川中心。燃料費の高さや、生産者、作付面積の減少などにより、平年を上回る入荷は見込めない状況。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。						
アールスメロン	20年	309	614	628	625	584	愛知 44%
	21年	306	553	604	541	510	静岡 40%
	22年	308	582	651	601	501	高知 11%
	23年	252	677	0	0	0	
	24年	250	568	797	719	651	
	5ヵ年平均	285	597	546	508	459	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	250	600	600	600	550	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	主要産地は愛知、静岡。次いで高地。玉の大きさとしては、2L、小玉が中心となる見込み。入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。						
すいか	20年	2,762	172	138	160	204	愛知 28%
	21年	2,823	137	133	132	142	石川 21%
	22年	3,079	157	167	149	162	長野 17%
	23年	2,548	196	209	212	182	新潟 13%
	24年	3,215	132	148	130	133	
	5ヵ年平均	2,885	157	158	155	163	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	2,800	150	150	150	150	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	主要産地は愛知、石川、長野。他に新潟。7月は石川産が増加してくると、一気に山場を迎える。入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	20年	42,935	342	360	346	323	山梨 17%
	21年	43,979	323	331	332	309	千葉 13%
	22年	43,187	338	356	352	314	山形 10%
	23年	37,118	380	400	400	345	フィリピン 10%
	24年	38,687	339	367	338	316	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	41,181	343	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	37,900	360	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>すいか類、もも、メロン類中心に入荷する。ももは山梨中心に入荷。開花が早く生育は前進気味。メロンは青肉の千葉産タカミ、山形産アンデスが中心、いずれも生育良好。他にぶどう、ハウスみかん、おうとう等が入荷している。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
アーメロン	20年	772	673	624	683	745	静岡 50%
	21年	750	590	639	576	538	千葉 19%
	22年	746	603	690	603	492	茨城 9%
	23年	606	741	749	770	680	高知 9%
	24年	685	596	626	641	511	(愛知産比率 6%)
	5ヵ年平均	712	638	663	650	592	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	680	750	900	800	650	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、千葉、茨城などからの入荷となる。6割を占める静岡は、作柄良好で、上中旬を中心に6玉の出荷が多い。千葉は大玉傾向で中旬までの入荷。茨城は生育が順調も面積は減少している。入荷量は前年並みだが、価格はメロン全体が好調で前年を大幅に上回る見込み。</p>					
すいか	20年	14,224	175	150	168	198	千葉 26%
	21年	14,653	153	145	156	157	新潟 15%
	22年	15,467	173	176	166	174	山形 14%
	23年	12,092	217	215	250	188	茨城 10%
	24年	13,933	147	154	146	142	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	14,074	172	167	175	171	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	14,000	175	185	175	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、茨城に加え、後半山形からの入荷が本格化する。千葉は少雨の影響で小玉傾向でやや少ない。山形も融雪遅延による定植遅れで4～5日の生育遅れであるがその後の生育・肥大は順調で少ない前年を上回りそう。入荷量は前年並み、価格は安かった前年を大幅に上回ると見込まれる。</p>					

切花・鉢花の7月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 6月26日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪ぎ	実績	20年	2,841	39	
		21年	2,982	34	
		22年	1,882	66	
		23年	2,024	53	
		24年	2,295	30	
	5ヶ年平均	2,405	43		
25年見通し	2,200	40			
概要	愛知、長野、三重等から入荷。4月の低温や雨不足で生育不良だった長野産も出荷が始まり、夏系品種に切り替わる。今後の天候にもよるが、昨年と比べると出荷はなだらかで大きな崩れはないと思われる。				
小ぎ	実績	20年	2,791	20	
		21年	2,924	20	
		22年	1,758	40	
		23年	1,843	32	
		24年	2,095	21	
	5ヶ年平均	2,282	25		
25年見通し	2,100	25			
概要	愛知、長野、埼玉、奈良等から入荷。4月の低温、雨不足で短幹傾向であったが、ほぼ回復してくる。後半からは高冷地産も始まり、量的にも安定するが色バランスによっては苦しい場面もあると思われる。				
カーネーション	実績	20年	1,172	36	
		21年	1,106	37	
		22年	1,183	39	
		23年	1,260	31	
		24年	1,079	39	
	5ヶ年平均	1,160	36		
25年見通し	1,100	36			
概要	長野、北海道等から入荷。4月の低温で少し遅れたが、5、6月と暖かく、全体には7日程早く出荷が始まった。7月は毎年一番花のピークで苦しいが、若干早めの出荷で、産地により出荷のズレもあり、7月のスポット予対等の対策により、ある程度厳しい中でもいい動きとなる。				
かすみ草	実績	20年	159	60	
		21年	184	52	
		22年	104	69	
		23年	111	70	
		24年	114	66	
	5ヶ年平均	134	62		
25年見通し	120	62			
概要	長野、福島、北海道から入荷。入荷量はさほど多くないが、6月出荷が少なかったことから7月の出荷は前年よりも多いと思われ、業務需要によっては動きは悪く、相場の安い展開が予想される。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	20年	484	117	
		21年	462	124	
		22年	425	143	
		23年	468	125	
		24年	440	134	
	5ヶ年平均		456	128	
	25年見通し		460	130	
概要	新潟、岐阜、埼玉から入荷。オリエンタル系は暖地の一部を除き出荷終了し、入荷は少なめではあるが、動きは悪く、販売は苦しそう。鉄砲、LAは入荷少ないが、業務中心に動くため、一定数量は安定しているが、入荷によっては不安定な動きになるだろう。				
洋 ら ん	実績	20年	362	83	
		21年	372	77	
		22年	354	86	
		23年	375	85	
		24年	376	84	
	5ヶ年平均		368	83	
	25年見通し		360	85	
概要	愛知、静岡、鹿児島、輸入等が入荷。気温の高い時期に向っていくにしたがい、入荷は減少傾向。品質の差が価格に出てくると思われる。7月の洋蘭系は全体的にはもちあい基調と予想される。				
ば ら	実績	20年	1,021	39	
		21年	1,024	44	
		22年	858	46	
		23年	810	44	
		24年	863	46	
	5ヶ年平均		915	44	
	25年見通し		880	44	
概要	愛知、岐阜、和歌山、山形、長野から入荷。伊勢が株休みの為出荷休止となるので、入荷本数は大きく減る見込み。高冷地、夜冷等品質差が大きくなり、販売差も出てくる。				
枝 も の	実績	20年	1,554	43	
		21年	1,308	43	
		22年	1,751	40	
		23年	1,733	43	
		24年	1,898	39	
	5ヶ年平均		1,649	42	
	25年見通し		1,700	42	
概要	愛知、静岡、岐阜から栽培物、山取り物の出荷量は増えるが、天候により入荷は不安定。新盆需要もあり、引合いは強くなりそう。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	20年	27,060	1,201	
		21年	29,520	1,032	
		22年	32,570	1,011	
		23年	24,971	1,034	
		24年	29,574	1,036	
	5ヶ年平均		28,808	1,105	
	25年見通し		29,000	1,045	
概要	<p>入荷量は昨年並か。6号がメインとなる。4号に関しては数量が少なそう。7・8・10号は引き合いありそう。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(98.1%)、2位静岡県(1.3%)、3位三重県(0.5%)となっている</p>				
フ ア レ ノ プ シ ス	実 績	20年	28,731	3,091	
		21年	28,689	2,968	
		22年	30,131	2,819	
		23年	22,862	3,326	
		24年	27,350	3,315	
	5ヶ年平均		27,553	3,089	
	25年見通し		28,000	3,000	
概要	<p>入荷量は若干増加か。中元シーズンに入ってくるので単価面では期待。また下旬からお盆需要に入る為、白大輪とミディー白の出荷をお願いしたい。昨年同様、出荷時はツボミ多めでお願いしたい。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(59.2%)、2位静岡県(8.2%)、3位千葉県(2.8%)となっている</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	20年	9,282	95	
		21年	10,026	108	
		22年	11,929	97	
		23年	11,201	69	
		24年	9,341	144	
	5ヶ年平均		9,319	94	
	25年見通し		9,000	225	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。高温時期に入り、花持ちが悪くなる為に販売に苦戦しそう。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位岐阜県(52.3%)、2位山口県(20.7%)、3位愛知県(14.1%)となっている</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
オンシジユ	実績	20年	3,054	944	
		21年	1,929	1,157	
		22年	1,756	1,238	
		23年	2,015	898	
		24年	2,096	976	
	5ヶ年平均		2,583	1,128	
	25年見通し		1,800	722	
概要	<p>作付けが減っている為、入荷は減少か。昨年同様、春より物が良くなる為、良品に期待。出荷時は固めでの出荷をお願いしたい。</p> <p>昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県（49.5%）、2位長崎県（27.0%）、3位福岡県（9.5%）となっている</p>				
スパファイ	実績	20年	19,443	249	
		21年	14,688	286	
		22年	14,642	256	
		23年	13,325	267	
		24年	15,940	297	
	5ヶ年平均		15,608	270	
	25年見通し		17,000	294	
概要	<p>入荷量は昨年並か。単価面は昨年同様に5号以上は厳しい。贈答用としての需要は少ない。逆に3号～4号の小鉢の方が売店では使いやすい。</p> <p>昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県（49.1%）、2位三重県（45.2%）、3位岐阜県（5.7%）となっている</p>				
ドラセナ類	実績	20年	52,409	572	
		21年	36,704	544	
		22年	34,978	565	
		23年	29,975	696	
		24年	34,479	751	
	5ヶ年平均		41,992	617	
	25年見通し		34,000	714	
概要	<p>入荷量は昨年並か。ユッカ、マッサン、コンシ、ドラセナ類が中心となり、マッサンの大鉢は若干減少か。6～7寸がメインの入荷となりそう。</p> <p>昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県（75.0%）、2位沖縄県（10.3%）、3位三重県（5.5%）となっている</p>				

主要農林水産物の輸出入実績 (2013年)

1 輸入実績

品名	4月						4月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	76,170	84.7	8,624,209	104.0	113	122.7	211,055	58	25,111,960	77	119	132.3
トマト	569	140.2	224,495	156.5	394	111.6	1,473	105	587,889	118	399	113.2
たまねぎ	20,574	66.1	1,556,281	124.1	76	187.6	59,767	48	4,353,174	100	73	209.9
にんにく	1,538	87.1	337,301	163.3	219	187.4	4,114	61	848,805	115	206	190.2
ねぎ	4,248	98.2	488,155	76.0	115	77.3	12,831	73	1,399,801	64	109	88.7
ブロッコリー	3,793	76.3	760,647	100.5	201	131.8	8,108	45	1,451,043	54	179	121.0
結球キャベツ	3,528	56.2	130,723	46.2	37	82.3	10,684	44	422,200	48	40	109.7
にんじん・かぶ	9,945	106.2	532,241	104.7	54	98.6	18,310	104	1,021,559	73	56	70.7
ごぼう	2,798	60.1	131,461	43.4	47	72.2	9,837	60	470,441	52	48	87.6
えんどう	141	49.0	51,088	45.3	362	92.4	734	59	253,114	54	345	90.9
アスパラガス	1,319	82.3	682,034	97.7	517	118.7	4,597	48	2,488,256	63	541	130.8
まつたけ	-	-	-	-	-	-	2	-	4,797	-	2,866	-
しいたけ	137	45.3	46,179	57.7	337	127.4	1,566	73	508,554	68	325	93.6
かぼちゃ	16,506	116.7	1,080,897	119.4	65	102.4	48,500	67	3,547,905	80	73	119.7
果実(生鮮・乾燥)	183,541	99.4	25,863,860	115.9	141	116.5	401,495	63	51,367,985	75	128	119.6
バナナ	88,589	92.4	7,387,190	108.1	83	117.0	218,177	63	15,976,728	73	73	117.1
パイナップル	19,482	137.5	1,180,535	137.0	61	99.7	36,965	73	2,012,237	69	54	94.5
レモン	3,686	136.2	509,289	180.6	138	132.5	10,311	67	1,278,390	75	124	112.4
オレンジ	15,137	95.3	1,653,583	105.3	109	110.6	30,301	57	3,296,585	67	109	116.3
グレープフルーツ	16,496	99.5	1,916,335	121.0	116	121.5	35,584	48	4,086,584	59	115	122.7
メロン	3,839	118.5	412,012	116.7	107	98.5	9,080	110	958,731	97	106	88.7
ぶどう	3,992	94.3	845,056	129.7	212	137.5	4,840	54	1,124,246	60	232	112.8
キウイ	8,606	103.1	2,717,057	92.2	316	89.4	619	7	150,732	5	244	73.2
いちご	4	182.8	4,283	284.6	997	155.7	30	50	28,146	65	926	128.9
切花(生鮮・乾燥)	2,805	96.6	2,206,990	94.1	787	97.4	12,466	83	9,650,597	86	774	103.5
鳥獣肉類	151,003	115.1	72,319,740	125.7	479	109.1	407,852	72	186,536,960	76	457	105.3
牛肉(くず肉含む)	45,764	122.8	23,364,634	140.0	511	114.0	105,733	70	51,449,157	81	487	116.8
豚肉(くず肉含む)	62,024	115.7	32,672,237	115.9	527	100.2	179,594	71	94,498,624	72	526	100.2
鶏肉	33,159	105.0	9,163,408	130.4	276	124.2	103,989	75	27,000,956	78	260	103.6
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	170,082	93.4	96,876,639	89.4	570	95.8	391,210	63	217,166,902	62	555	99.7
まぐろ類	18,382	105.8	16,115,417	100.5	877	95.0	54,045	74	46,401,259	70	859	95.4
さば・さんま・あじ・いわし	3,994	62.4	779,705	63.3	195	101.4	25,013	61	4,337,639	59	173	96.4

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	299	150.4	135,640	118.8	454	78.9	7,430	372	2,713,581	259	365	69.7
うんしゅうみかん	5	212.3	3,537	188.1	677	88.6	137	121	68,125	102	496	84.1
りんご	275	152.0	99,205	108.6	361	71.4	7,030	404	2,352,948	306	335	75.8
なし	-	-	-	-	-	-	18	176	9,005	192	507	109.4
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	219,814	102.0	-	-	-	-	616,395	76	-	-
緑茶	241	131.7	516,072	120.8	2,140	91.8	585	86	1,377,361	91	2,356	105.4

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	23年平均	99.7	96.8	100.6	99.9	100.4
	24年12月	99.3	92.8	98.5	98.2	100.7
	25年 1月	99.3	105.4	112.6	98.3	101.0
	2月	99.2	95.8	106.1	98.5	99.0
	3月	99.4	90.2	104.2	98.2	99.5
	4月	99.7	90.7	100.7	98.3	100.3
	愛知県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0
	24年12月	99.1	94.8	100.5	95.1	101.3
	25年 1月	99.0	106.2	118.5	98.5	100.0
	2月	98.8	96.5	107.8	98.6	98.4
	3月	99.1	89.7	108.9	99.0	100.4
	4月	99.6	91.2	105.1	97.2	103.7

項目 年月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
	23年平均	97.6	93.3	95.3	99.9	101.9
	24年12月	110.6	114.0	123.5	106.7	104.5
	25年 1月	110.5	114.2	124.9	108.3	101.2
	2月	104.1	114.3	101.5	109.4	102.0
	3月	100.9	114.1	92.8	100.0	103.3
	4月	100.7	114.7	91.8	98.8	104.2

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
23年平均	1,872	148	188	665	432	342	148	352	242	542	603	172	490
24年12月	2,191	104	128	553	566	247	130	302	198	644	706	158	442
25年 1月	2,191	149	155	684	802	273	156	314	208	765	693	211	476
2月	2,151	147	169	559	729	296	159	327	211	564	595	173	449
3月	2,158	146	170	525	458	272	144	362	199	447	703	167	466
4月	2,167	143	183	504	469	278	133	401	209	463	634	150	475
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本		100g			
23年平均	552	286	376	146	223	771	540	151	164	299	222	818	416
24年12月	492	305	344	207	206	831	529	145	172	316	224	730	400
25年 1月	630	329	370	187	209	755	531	154	175	314	217	824	378
2月	564	325	347	158	209	800	520	147	173	308	218	864	383
3月	571	314	350	156	222	801	514	155	174	327	213	844	407
4月	287	287	333	143	238	728	531	156	163	319	211	790	420

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 481
平成25年7月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421